

## 令和2年度おだわら市民交流センターUMECO第三者評価

### ○ 各委員の評価点の平均点（5点満点）

拠点	相談・支援	協働支援	学習・体験	交流	情報発信	男女共同	国際
3.9 (3.8)	3.5 (3.8)	3.2 (3.1)	3.2 (3.7)	3.6 (3.4)	3.7 (3.2)	3.0 (3.0)	3.0 (2.8)

誰でも気軽に	シェアしながら	地域の課題を解決する
3.9 (3.9)	3.1 (3.2)	3.4 (3.1)

※（ ）内は前年度の評価点

## I 機能の達成状況

### (1) 6つの機能

#### ①拠点機能【3.9点】

- ・感染症対策も念頭に置いて団体登録更新手続きを来館不要にしたこと、UMECO企画展でのアンケート調査を常時実施したことを評価する。
- ・コロナ禍で顕在化した施設利用や活動支援での諸課題について、特に活動エリア及び交流エリアの利用促進に向け、関係者の意見も踏まえつつ対応を検討していただきたい。
- ・事業参加のメリットを明確にしたり、良質な活動を行う団体に積極的に働きかけるなどより多くの社会貢献を目指す団体が事業に参加できるよう工夫していただきたい。

#### ②相談・支援機能【3.5点】

- ・コロナ禍の休館中でも相談業務を継続したことを評価するとともに、その実績から市民にUMECOの役割が浸透しつつあること、相談対応の充実に努めたことがうかがえる。
- ・資金支援の充実に向けて、企業や個人への効果的な働きかけ、補助金に止まらない事業の展開、寄附金の集め方や活用方法等を検討していただきたい。
- ・若者や新設の団体へのサポート、SNS・オンラインを取り入れた相談手法、さらなる相談業務の平準化及び職員のレベルアップに努めていただきたい。

#### ③協働支援機能【3.2点】

- ・「Hello!UMECO」を発行し、市民活動団体と地域の連携促進に努めた点を評価する。利用状況をフォローアップするなどPDCAを実践し、冊子を最大限に生かした、利用頻度の高い仕組を目指していただきたい。
- ・新たな企業との協働を積極的に推進しており、コロナ禍においても実現可能な事業や、既存の会場提供を超えた協力形態の検討を進めていただきたい。
- ・多様な主体間における連携への支援をより充実させるとともに、事業参加が特定の団体に偏らないように配慮していただきたい。

#### ④学習・体験機能【3.2点】

- ・一部の講座をオンラインで実施できたことは、今後の新たな展開につながるものと考え  
る。
- ・会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド開催等、コロナ禍においても対応で  
きる仕組みを検討し、団体間の連携を継続していただきたい。
- ・市民や団体側のニーズや課題を把握し、タイムリーな講座を実施するとともに、インタ  
ーネットの魅力発信等にも努めていただきたい。

#### ⑤交流・コーディネート機能【3.6点】

- ・UMECO祭りをオンライン開催するなど、時代・状況に合った新たな手法で交流の機  
会を提供すべく取り組んだことを評価する。フォローアップに関しても確実に実施して  
いただきたい。
- ・事業に参加する団体が限定されないよう、きめ細かなPRや技術的なサポートを充実さ  
せていただきたい。
- ・コロナ禍においても団体と地域の交流機会が薄くならないよう方法を検討し、コーデ  
ィネートを継続していただきたい。

#### ⑥情報の集約・発信機能【3.7点】

- ・コロナ禍でも継続することの重要性を認識し、多様な媒体を活用して情報発信を行っ  
たことを評価する。
- ・メールやSNSも活用しながら、よりニーズに沿った頻度、内容による情報提供に努め  
ていただきたい。
- ・事業効果を把握しやすい指標や、市民活動に興味がない市民へのPR方法を検討して  
いただきたい。

### (2) その他

#### ①男女共同参画【3.0点】

- ・企画展により、男女共同参画の啓発を行ったことを評価する。
- ・行政との役割分担を明確にした上で、コロナ禍でも実施可能な事業に主体的に取り組  
んでいただきたい。

#### ②国際交流【3.0点】

- ・日本語教室等の団体に活動エリアを提供したことを評価する。
- ・国際理解を深めるための取組が求められており、主体的に実施していただきたい。

## II コンセプトの達成状況

### ①誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけの場【3.9点】

- ・コロナ禍にあっても、UMECO祭りのオンライン化など、多くの事業を創意工夫して実施し、市民活動を始める「きっかけの場」の提供に努めており、今後も継続していただきたい。
- ・特定のコンセプトに偏らないよう、UMECOとしてバランスの取れた事業運営を検討・実施することが望まれる。
- ・さらなる「きっかけの場」づくりを目指し、若い世代を中心とした一般市民、NPO法人、企業等を取り込む工夫を期待する。

### ②シェアしながら それぞれの思いがつながる行動の場【3.1点】

- ・交流イベントのフォローアップを行うなど、「思いがつながる」関係づくりを継続しており、団体の活動の広がりが期待される。
- ・より団体の活動が広がるよう、またコロナ対策の非対面による交流を意識しながら、事業内容やPR方法について検討していただきたい。
- ・参加者の固定化に注意し、新規団体やNPO法人の参加が得られるよう、テーマやコーディネート方法を工夫し、参加したくなる場づくりを目指していただきたい。

### ③地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる実現の場【3.4点】

- ・コロナ禍にあっても事業が制限される中でも、団体と地域・企業との連携促進に取り組むとともに、各団体の活動を直接取材する等、社会貢献につながる「実現の場」づくりに向け、精力的に取り組んだことを評価する。
- ・感染症の状況を注視しながら情報収集等の準備を進め、適切な時期を捉えて地域や企業との連携促進に係る事業等を展開し、積極的な情報発信とコーディネートに努めていただきたい。
- ・協働事例等の収集・発信や、コーディネートに必要なスキルの向上に努めるとともに、寄附金の集め方や活用方法についても前向きに検討していただきたい。

## III まとめ

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が例年どおりには実施できない状況となったが、一部の事業をオンライン化等の工夫により実施することができたことを評価する。引き続き、感染症対策を講じることで実施可能な事業を広げるとともに、活動エリア及び交流エリアの有効活用やコロナ収束後を見据えた情報収集等について、行政と連携しながら検討していただきたい。

また、これまでも各種事業に新規団体の参加が少ない傾向があったが、昨今のオンライン化の流れもあり、その傾向が顕著になっていると感じられることから、きめ細かな事業周知やサポートをより一層充実させていただきたい。

今後も、UMECOが「地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる実現の場」となることを目指し、市民活動団体の力をまちづくりに生かすべく、団体と地域、企業や若者等の多様な主体のコーディネートに取り組まれることを望む。